

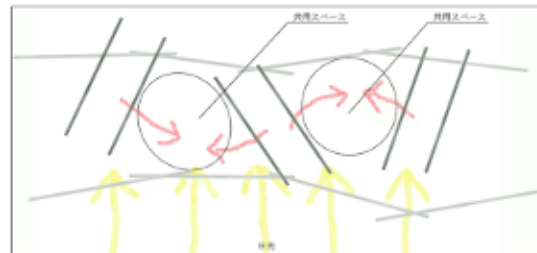
つむぐ

知識と伝統の継承



・層構成システム2(集合住宅)

・2階に計画し、採光をとるための壁を山や川、1階の壁と進行するように南北に配置する。交差させてそれぞれの住戸が干渉しにくいようにするとともに、外壁空間には各部屋からアクセスしやすいようにする。また、構造体に穴をあけて住人の移動に通行できるように計画した。



・二つの住戸を二枚の構造体で囲むように構成し、一般の集合住宅と違って戸締り住戸のような二重戸回土の構造が得られるようにそれぞれの建築をバランスよく配置した。また、南北に建物を配置した関係で北側にある住戸にはどうしても日光が当たりにくくなってしまふので、南側の建物より高さを上げて採光がきちんととれるよう計画した。



・問題点

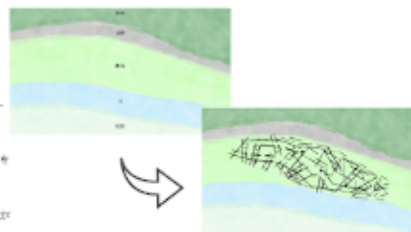
利権は想定範囲に入り採掘に支障を来する一帯の丘陵として地物を保存して来た。そして、居住では携帯電話やパソコンといった電子機器を生活するものの中でより電磁波が低下してきている。そこにリーマンショックのあたりを受けて以降、地の生産量は減少の一途を辿っている。また、もう一つの要因として、養蜂者不足がある。調査、養蜂者不足を和紙を養う努力が狭く、養蜂者が育たずに高齢化が進んでいる。和紙作りを養うには養蜂職人に女子入りして貰うことが多い。しかし、江戸は正義に構えていることが多く若い人への状況である。

・目的

当計画では、築建しつつある地元の建物を活用しながら、再び高層集積の得られる伝統工芸品として和紙を育めることを図る。また、養蜂者を育成するためにより良い施設を建設させ、これからの和紙産業を担う人材を育てることも可能とする。そして、和紙の製作に必要な不可欠な水を利用するため、川を合わせた両辺の地盤にも配慮し、和紙の製造に適した計画と空間構成を提案する。

・壁の層構成システム(和紙工房、ギャラリー側)

- ・川、敷地、道路が層構成をなしており、その地形的特徴として紙を積層させるようにR/C造の壁を階層に計画、配置し、和紙の作業工程に合わせてレーン状に作業できるようにする。
- ・構造体に細かいスリットの隙間と通路を設けて、探子のように仕切られるものの他人の気配が感じられる空間構成をとる。これにより壁の両側のような人が会話できなくても、壁越しに人の気配を感じ取れる賢い空間となるように計画する。
- ・上流から下流への動線に沿って、上流側に工場を置き、製紙工程に付いた長いスパンの壁を使い、下流側にギャラリー等を設け、見学者や有名のコミュニケーションにも対応しやすいように短いスパンの壁を計画する。
- ・近くの川で習合からの紙すきを行えるような計画や季節の日当たりのよさを考慮してテラスを設け、そこで和紙の天日干しが行えるような施設を導入した。

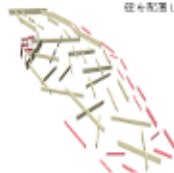


・ダイアグラム

(1)地形によるゾーニングを行いながら、1階部分に地元の民家に沿った建物の形になるように構造体を配置する。



(2)周辺環境とヒューマンスケールに考慮して(1)の外周にさらに細かい壁を配置し、層の密度を増していく。



(3)1階の機能をもとに、2階の壁を配置し、層構成が確立するように計画する。



(4)構造体の軸を南北にとり、採光を考慮して適度な開口に改造する。採光や居住性を考慮し、構造体の間に高さ方向をずらすようにして住戸を設置する。

